

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1年次 全員	必修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
Power On English Communication Ⅰ （東京書籍）		Workbook Power On Ⅰ		1年次必須科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の言語活動及びこれらを結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方の概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
1 学 期	Lesson1	Japan's New Tourism	4	過去と現在の日本の観光の状況について学ぶ。 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson2	Light from Creatures	5	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて学ぶ。	1 2 3
	Lesson3	Routes to the Top	6	受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 スポーツクライマーへのインタビューを通して、スポーツの魅力を理解する。 動名詞、不定詞、S＋V＋O[that 節]を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson4	Left to Right, Right?	7	日本や海外のマンガの形式やその翻訳について学ぶ。 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
2 学 期	Lesson5	Banana Paper	9	バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて学ぶ。 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S＋seem＋to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson6	Patters in Humans Behavior	10	人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について学ぶ。 It＋be 動詞＋形容詞＋that 節、S＋V[be 動詞以外]＋C、S＋V＋O＋C[形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson7	No Plastic or No Future	11	プラスチックごみによる海洋汚染について学ぶ。 関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson8	Oh My God!	12	食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について学ぶ。 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	Lesson9	Is E-sports a Real Sport?	1	e スポーツの現状、利点や欠点について学ぶ。 S+V[知覚]+O+C[現在分詞、原形不定詞]、S+V[使役]+O+C[原形不定詞]、S+V+O ₁ +O ₂ [ifなどの節]を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Lesson10	Being Different Is Beautiful	2	写真家ヨシダナギさんの経験、過去と現在について学ぶ。 wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if 節、仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。	1 2 3
	Optional Reading	THANK YOU ICHIRO	3	アメリカの野球選手が抱いたイチロー選手への畏敬の気持ちについて学ぶ。 文と文、段落と段落のつながりを示す語句を理解する。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容を理解し、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるか。 ○学習した文法事項を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けているか。		○必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用できているか。 ○情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができるか。	○必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しようとしているか。 ○情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしているか。
	手 段	・定期考査、小テスト ・提出課題		・定期考査、小テスト ・各課末のパフォーマンステスト	・授業中の取組状況 ・各課末のパフォーマンステスト
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。		
学習上の留意点	・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。 ・提出物はじっくりと取り組み、丁寧に仕上げて期日厳守で提出すること。 ・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。				